

## 住職の写真日記より【10月】

※ホームページではカラーで見られます

10月に入るとウチのお寺も報恩講モードになります。坊守は準備に追われて、忙しい毎日を過ごしていました。日に日に気温も下がり、陽も短くなってきました。月末の峠越えのある3カ寺の報恩講に備えて、今年も10月22日に冬タイヤに交換しました。



6日 感謝をこめて

息子ら野球部員3年生が、お世話になったマネージャーさんにグローブを。泣けるね。



8日 今年も大盛況

6回目になるジャズコンサートは100名の来場。ビールおつまみほぼ完売。



11日 初給料日

息子がバイトを始めて半月、待ちに待った初給料でした。休まずに行ってるようです。



7日 まさに寺CAFE

由仁町の廃寺になったお寺を改造したという喫茶店に坊守がお友達と。なかなかいい雰囲気ですね。



13日 こがね食堂にて

向かいの食堂のご主人の1周忌。坊守と純正もお参り。まもなくお店は閉店するそうです。残念！



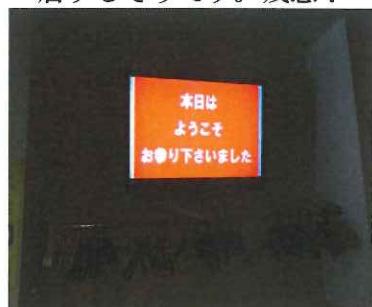
15日 札幌別院報恩講へ

今年は午前中の法要に、千正寺から10名でお参り。各寺院からたくさんの団体参拝があったようです。



19日 食品衛生管理者に

ここ数年、お寺で食品を扱うことが多くなったので、坊守が講習を受けました。お寺の厨房に貼っています。



20日 ロビーにモニター

行事写真を流すためのモニターテレビを設置しました。行事がある時だけ流しますので、お楽しみ下さい。



28日 初めてのお参り

洞爺湖町の親戚寺院の報恩講に、母と子供らがお参り。前日は洞爺湖温泉に宿泊、これも初めての事でした。

## 坊守の独り言

10月下旬、実家明善寺の報恩講に住職、娘の菜々子とお参りさせてもらいました。大学4年の娘は、幼稚園以来の明善寺報恩講。

来年からは社会人なので明善寺にもなかなか行けないと思い帰省させました。

父（81歳）も少しづつ物忘れが増え、母（76歳）は父のことを見たように声をかけ手をかけ生活しています。元気が当たり前ではなくってきた両親。

私もこれから子育てが一段落、自分の時間を少しだけ「じじばば」と過ごして行こうかと。

最近、樹木希林さんがお亡くなりになり、お孫さんが「ばあば、よく生きたね」と言ってお見送りされたそうです。また樹木さんも「自分の死にざまを見てもらいたい。それが私の願い」とお話されていたとか。

それぞれの親子の物語がありますね。